

289

電 信 案

外 務 省

ヲ抑制シ蔣ヲシテ和ヲ講シ得ル如キ情勢馴致スル上ヨリ最モ重視

ハ獨リ蘇聯ノ直接援助ヲ控制スルニ止マラス中國共產黨ノ抗日性

障害ヲ爲スモノハ米蘇ノ重慶支援ト認メラレ殊ニ日蘇關係ノ調整

テ重慶トノ間ニ妥結ヲ計ルノ必要アル處對重慶和平ノ促進上最モ

ニ日支事變ヲ處理シ全面和平ヲ招來スル爲ニハ所詮何等カノ形ニ於

時且適切ニ發動セシメンコトヲ期待シ居ルモノナリ

大關心事タル日支事變ノ急速處理ニ必要ナル對重慶外交攻勢ヲ速

(日本標準規格B5) S 11001 179

288

大臣 次官

歐亞局長

第一課

第二課

(分類)

電 信 案

外 務 省

| | |
|----|---------|
| 主管 | 東亞局長 |
| 主任 | 東亞局第一課長 |
| 主任 | 東亞局第二課長 |
| 發 | 松岡外務大臣 |

昭和十五年十月九日起草

在獨 來栖大使

日蘇國交調整並ニ對重慶

施策ニ關スル件

第 號

極秘

日獨伊三國同盟ノ締結ハ右外交体制ヲ利用シ日支事變ヲ急速終結

ニ導クト共ニ我南方施策ヲ容易ナラシメ以テ大東亞共榮圈ノ確立

ヲ促進セントスルニ存スルモノナル處就中右ニ依リ帝國當面ノ最

(日本標準規格B5) S 11001 178

電 信 案

外 務 省

シ居ル案件ニシテ三國同盟締結ノ狙ヒモ亦茲ニ存スル次第ナリ從
 テ日蘇國交調整ハ差當リ日支事變處理ニ寄與セシムヘキ目標ト限
 度ニ於テ急速且短期間ニ之ヲ實現スルコトヲ要シ右觀點ヨリスル
 對蘇國交調整案ニ付テハ目下猶研究中ナルモ骨子ハ(イ)不侵略條約
 ノ締結ヲ第一ノ目標トシ右ニ關聯シ(ロ)日蘇兩國カ從來支那ニ關シ
 獲得シ來レル地位ヲ相互ニ尊重スルコト(ハ)日本ノ南方發展ニ對應
 シ蘇聯ノ中央亞細亞方面ヘノ進出ヲ認ムルコト等ニ關シ了解ヲ遂
 クルト共ニ蘇聯ヲシテ援蔣態度及行爲ヲ拋棄セシメントスルニア
 リ所謂利權問題ニ付テハ出來得レハ之ヲ確保スルニ努ムルモ政治
 協定成立ノ爲已ムヲ得サル場合ニハ適當調整ヲ加フルコトヲモ考
 慮シ居ル次第ナリ右ニ關シテハ先ツ日獨間ニ將來蘇聯ヲ如何ニ處
 置スヘキヤ又蘇聯ノ勢力竝ニ發展ヲ如何ナル限度ニ認ムヘキヤ等
 ニ關シ隔意ナキ話合ヲ遂ケ置クコト絶對ニ必要ニシテ且目下ノ情
 勢上蘇聯ノ要求ヲ抑制シ速ニ國交調整ヲ實現センガ爲ニハ三國條

日本標準規格B5



11001

181

電 信 案

外 務 省

シ居ル案件ニシテ三國同盟締結ノ狙ヒモ亦茲ニ存スル次第ナリ從
 テ日蘇國交調整ハ差當リ日支事變處理ニ寄與セシムヘキ目標ト限
 度ニ於テ急速且短期間ニ之ヲ實現スルコトヲ要シ右觀點ヨリスル
 對蘇國交調整案ニ付テハ目下猶研究中ナルモ骨子ハ(イ)不侵略條約
 ノ締結ヲ第一ノ目標トシ右ニ關聯シ(ロ)日蘇兩國カ從來支那ニ關シ
 獲得シ來レル地位ヲ相互ニ尊重スルコト(ハ)日本ノ南方發展ニ對應
 シ蘇聯ノ中央亞細亞方面ヘノ進出ヲ認ムルコト等ニ關シ了解ヲ遂
 クルト共ニ蘇聯ヲシテ援蔣態度及行爲ヲ拋棄セシメントスルニア
 リ所謂利權問題ニ付テハ出來得レハ之ヲ確保スルニ努ムルモ政治
 協定成立ノ爲已ムヲ得サル場合ニハ適當調整ヲ加フルコトヲモ考
 慮シ居ル次第ナリ右ニ關シテハ先ツ日獨間ニ將來蘇聯ヲ如何ニ處
 置スヘキヤ又蘇聯ノ勢力竝ニ發展ヲ如何ナル限度ニ認ムヘキヤ等
 ニ關シ隔意ナキ話合ヲ遂ケ置クコト絶對ニ必要ニシテ且目下ノ情
 勢上蘇聯ノ要求ヲ抑制シ速ニ國交調整ヲ實現センガ爲ニハ三國條

日本標準規格B5



11001

180

電 信 案

外 務 省

實現ヲ考慮セシムル如ク施策シ重慶ヲシテ世界新秩序建設ノ方向
 營ヘノ完全ナル参加ヲ速ニ阻止シ寧中大局的ニ日支間ノ和平急速
 以テ此ノ際獨ニ於テ獨蘇ノ政治關係ヲモ適宜利用シ重慶ノ英米陣
 中
 獨
 聯
 進
 動
 向
 ニ
 關
 シ
 テ
 ハ
 至
 大
 關
 心
 ヲ
 有
 シ
 居
 ル
 如
 ク
 ナ
 ル
 ヲ
 アリ然ルニ重慶ハ蘇聯ノ援助ニ期待シ居ル關係上獨ノ對蘇發言權
 ヨリ三國同盟締約國全体ノ利益ノ爲ヨリモ速ニ之ヲ阻止スルノ要
 ニ觀取セララルル處斯クノ如キ情勢ハ帝國直接ノ利害ニ關スルハ素

電 信 案

外 務 省

約ノ經緯ニモ鑑ミ帝國トシテハ此ノ際獨ノ積極的斡旋努力ニ特ニ
 期待シ居ル次第ナリ
 三國同盟ノ成立ハ英米ハ素ヨリ重慶ニ對シテモ相當ノ衝擊ヲ與ヘ
 居リ英米ハ其ノ協力關係ヲ一層緊密ナラシムルト共ニ蘇聯ノ抱込
 ミニ關シテハ獨蘇ノ關係一應不動ナル現況ニ於テ特ニ對日牽制ノ
 觀點ヨリ種々工作ヲ進メソナリ更ニ同様ノ觀點ヨリ重慶ヲモ抱
 込ミ進ンテ之トノ間ニ同盟關係ヲ結成セントスル如キ氣配モ多分

電信案

帝國トシテハ此ノ際前記一乃至三ヲ以テ申進タルカ如ク對重慶施

始セラルヘキモノナリト建前ヲ堅持スルモノナリ(要之スルニ

共榮圈ノ確立ヲ共同ノ目標トスル日支兩國間ノ直接折衝ニ依リ開

思考シ居ル處何レニセヨ帝國政府トシテハ日支ノ和平ハ先々東亞

條約案ノ如キモ和平ノ條件トシテ必シモ之ニ執着スルノ要ナシト

立ノ見込立ツニ於テハ現ニ汪政權トノ間ニ一應折衝ヲ了シタル新

互ノ話合ニ委シテ可ナリト考ヘ居レリ。追テ日支ノ全面的和平成

(原議用紙乙)

S 11001 185

電信案

ノ合作ヲ前提トスル處汪蔣ノ合作ハ支那ノ内政問題トシテ汪蔣相

上ノ相手トシテ和平ノ話ヲ進ムルコト然ルヘク右話合ハ結局汪蔣

意アルコト判明スルニ於テハ汪側ノ諒解ヲモ得タル後重慶ヲ事實

メントノ意圖ニ出タルモノナルヲ以テ重慶側ニ於テ眞ニ和平ノ誠

固々右ニ依リ重慶政權ノ内部ヲ切崩シ全面的和平ヲ速ニ招來セシ

抑々帝國政府ニ於テ汪政權ヲ樹立シ之カ育成ヲナシ來レル所以ハ

ニ協力セシムル如ク誘導スルノ要アリト存ス

(原議用紙乙)

S 11001 184

| | | | | | |
|-------------|-------------|--|--------------|--|----------------------|
| 電 信 案 | 外 務 省 | (一) 獨逸ハ將來蘇聯ヲ如何ニ處置スル意向ナリヤ又蘇聯ノ勢力範圍或ハ其ノ發展ヲ如何ナル限度ニ於テ認メントスル意向ナリヤ (二) 日蘇ノ國交調整ニ關シ獨逸側ハ如何ナル手段方法ヲ以テ其ノ間ノ | 案 | 五就テハ貴官ハ以上ノ情勢並ニ帝國政府ノ意嚮ヲ体シ至急左記諸點ニ關シ獨逸政府ヘ「リ」外相ノ他「ゲーリング」「ヘス」等各方 面ト接觸セラレ度ト隔意ナキ懇談ヲ遂ケラレ結果回電アリ度 | 致上ノ次方(含)上 (原議用紙乙) |
| | | | | | |

S 11001 187

| | | | |
|-------------|-------------|--|---------|
| 電 信 案 | 外 務 省 | 策上帝國ノ外交体制強化ニ關スル獨逸側ノ斡旋ヲ最モ希望スルモ右日支間直接折衝ニ對シテハ差當リ獨逸側ノ仲介ヲ期待シ居ル次第ニ非ス | (原議用紙乙) |
| | | | |

S 11001 186

| | | | | | | |
|--------------------------|--|---|---|------------------------------|--|------------|
| <p>幹旋ヲナス意向ナリヤ又爲シ得ヘキヤ</p> | <p>(三) 獨逸政府ハ重慶政權ヲシテ英米陣營ニ趨ラシメサル様如何ナル措</p> | <p>置ヲ採ルヘキヤ (將來情況未定) 獨逸ヲシテ重慶トノ仲介ニ當ラシムル <small>此等ノ意見切實ニ依リテ</small></p> | <p>爲一ノ捨石ヲ打テ置ク意味ニ於テ適當話合ヲ行ハレ度 <small>必要モ生ズルニ於テ是レノ案ヲ依リテ</small></p> | <p>(四) 獨逸ノ對英戰爭今後ノ方針及見透如何</p> | <p>(五) 敘上ノ諸點ニ關シ獨逸トシテ伊太利ヲ如何ナル程度ニ見居ルモノ</p> | <p>ナリヤ</p> |
|--------------------------|--|---|---|------------------------------|--|------------|

電信案

外務省

(原議用紙乙)

S 11001 188

(四) 支那事變處理上蘇聯ノ援蔣的態度ヲ一擲セシムルト共ニ中國共產黨ノ抗日性ヲ抑制スルハ是非共必要ナルニ付對蘇交渉ニ際シテハ右ヲ常ニ念頭ニ置カレ度シ

(三) 三國同盟成立後英米側ニ於テ蘇聯ノ抱込ヲ暖シ居ルノミナラズ重慶政權側ニ於テモ米蘇ノ接近ニ至大ノ關心ト期待トヲ懸ケ居ル情勢ナルニ付右充分御含ミノ上適當善處セラレ度シ

(二) 日蘇國交調整ニ當リテハ獨伊ノ對蘇壓力ヲ利用スルコト至當ナリト認メラルルニ付在莫斯科獨及伊大使ト不斷ニ充分連絡ヲ取り置カレ度

(一省 略)

左 記

(日本標準規格 B5)

S

11001

202

外務省

極秘

建川大使訓令案 (一) 亞一 試案

昭十五 九

支那事變ノ速急終結ニ資シ對南方施策ヲ容易ナラシムルト共ニ差當リ北方ヨリ來ル脅威ヲ除キ以テ大東亞共榮圈ノ確立ヲ促進スルハ帝國政府當面ノ外交目標タリ、而シテ右目的達成ノ爲ニハ速ニ蘇聯トノ間ニ飛躍的國交調整ヲ行フ要アリ、概ネ左記ニ依リ任務ヲ達成セラレ度シ

ニ 尙任務遂行ニ當リテハ左ノ諸點ニ付特ニ留意セラレ度シ

(1) 日蘇國交調整ハ支那事變處理ヲ祖ヒ居ルモノナルニ付日蘇間ニ不侵略條約ヲ中核トスル政治的諒解ヲ遂クルヲ第一目標トスルモノニシテ利權問題ヲ含ム經濟的協定ハ右政治的諒解達成上必要ナル限度ニ於テ觸ルルコトト致シ度シ

(日本標準規格 B5)

S

11001

201

外務省

手記

東亞局第二課長 東亞局長

改案 一 九

電信寫

301

秘

昭和15年五月八日 北京十月三十日午後 三十日夜着

松岡外務大臣

合第五一六號

土田参事官

日蘇國交調整ニ關スル交渉(第三國ノ關係スル交渉ヲ含ム)ノ經過内容ニ付テハ之ヲ推知セシムル如キモノト雖外務省發表以外ハ一切新聞記述掲載並通信禁止方御取計ヒ相成度シ

和 本電宛先 大津、青島、濟南、徐州、張家口、石家莊、太原、厚

大津ヨリ山海關ヘ轉報アリタシ

張家口ヨリ大同ヘ轉報アリタシ
大臣へ轉電セリ

改第ニ修

S 11001 203